

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	室内の照明器具が暗いと家族からの声がある。読み物をしたり職員がスタッフが入居者様の皮膚の観察等行うのに不便である。	和を基調とした作りの為 照明器具も和調の物で統一していたが 照明器具を明るい物に交換する。	徐々に交換しており2階は全居室取り換え済み。1、3階も期間内に交換する。	3ヶ月
2	35	年2回の避難訓練は行っているが参加していないスタッフもいる。さらに地震、風水害時の訓練は実施していない。	スタッフは全員参加を目標に取り組む。火災時の訓練だけではなく 地震・風水害時の訓練を取り入れる。	避難訓練の年間計画を立て実施する。参加者の出欠を記録し参加していないスタッフへの参加の呼び掛けを行っていく。火災時以外の訓練をマニュアルを用いて行っていく。	12ヶ月
3	54	馴染みの物の持ち込みもあり、自分らしい居室もあるが殺風景な居室もある。夜間使用のポータブルトイレが昼間居室にそのまま置いてある所がある。換気後の窓の閉め忘れがある。	個性豊かな居室にする。窓の閉め忘れに注意する。	ご家族に協力して頂き個性豊かな居室にする。ポータブルトイレについては昼間はカバーをかけ人目につきにくい様工夫する。夜勤者が朝換気の為に窓を開け早出者が掃除の後 窓を閉めるようにし、窓の閉め忘れに注意する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。